

# 東建パブリックニュース

2019年11月8日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

## 掲載 2019年10月25日 博物館研究vol.54 P.53

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

新入会員館園紹介(令和元年度)



### 名古屋刀剣博物館 名古屋刀剣ワールド

<https://www.meihaku.jp/>  
〒460-0008

愛知県名古屋市中区栄3丁目35番 栄タワーヒルズ TEL:052-857-0023

美術

学芸員

中村久美子

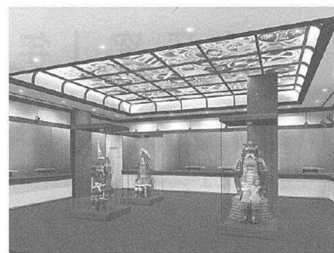
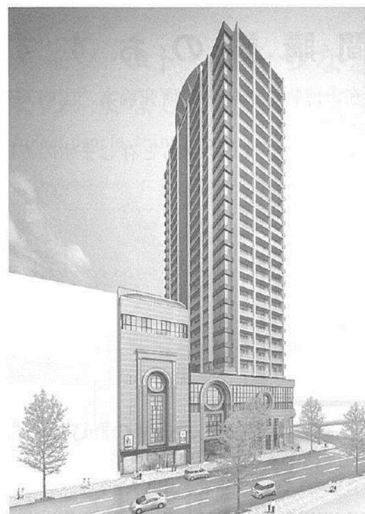
日本文化の振興・発展に寄与していくことを目的とし、令和2（2020）年6月に開館を予定している日本刀・武器・浮世絵の博物館。当館は名古屋市中区栄、「本町通」界隈に位置するランドマークタワー「栄タワーヒルズ」2階と、それと連結する北館7階建ビルにある。「本町通」は、名古屋城の築城とともに、名古屋城と熱田神宮を結ぶ基幹道路としてつくられ、以来400年を超えて大都市「名古屋」の文化を築いた道。歴史と未来が共存する同地で日本固有の工芸・美術品である日本刀や武器、浮世絵を展示する。

当館では、日本刀・武器が間近で見られる展示に加え、最先端のデジタルCGや映像技術で日本文化を学ぶ「メディア体験」スペースを設け、「誰もが楽しめる日本文化との出会いの場」を目指す。国の指定品を含む最大200振の日本刀と、約50領の甲冑、その他火縄銃・弓矢・陣笠・馬具をはじめとした武器や、武者絵などの浮世絵資料を展示予定である。

北館4階では、国宝を含めた国指定の日本刀をメインとした展示を行なう。日本刀と甲冑を展示し、ゆったりと鑑賞できる展示室とする。北館3階では、日本刀と浮世絵を展示予定。栄タワーヒルズと北館が連結する2階では、日本刀・甲冑・武器等を数多く展示し、映像技術による「メディア体験」スペースを設置。美術品の基礎知識を学べる映像や、プロジェクションマッピング等を投影する。1階のショップでは、図録や関連グッズのほか、現代刀匠による作品や、東海地方の伝統工芸品等を販売し、来館者様へ日本文化の魅力を訴求する。

また、Web情報でも収蔵品の紹介を行なう。「バーチャル刀剣博物館 刀剣ワールド」と銘打った公式サイトでは、日本刀や武器にまつわる様々なコンテンツを公開し、写真やイラスト・動画を盛り込み解説しているが、同サイトでは収蔵品の情報についても詳しく紹介しているため、この「バーチャル博物館」を利用し、美術品についての見識を深めて頂くことを期待する。

博物館開館後は、事業評価を行ない、来館者様のご意見をふまえ、より魅力的な日本刀・武器・浮世絵の博物館を目指し、鋭意尽力していきたい。



外観や展示部分の写真

※本カットは写真ではなくイメージです。開館後の内容とは若干の差異が予想されます。